



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

■石叫◎

「盟友の死」①

この六月二日の夜十時過ぎのことだ。突然、携帯が鳴った。この時間に一体誰だろうと思つて取ると、「トム岡田の息子です」と言う。何でトムの息子が電話をしてくるのだらうと思つた瞬間、僕の心は氷ついてしまった。そしてトムに何かがあったのだと思つた。しかも彼の命に関わるかも知れないことが！

その直後「佐知子ですけれど、トムが拳法道場で稽古の最中に突然倒れて、救急で運ばれましたが、ハート・アタックで死んだんです。とにかくお祈りください！」という叫びともつかない嘆声飛び込んできた。僕は「オー」としか応えることしかできず、声もなく電話の前に呆然としていた。彼は僕の母教会サンタクララ教会で学生の頃からの信仰の友であり、最も親しい友であった。

一九七五年の初夏の頃だろうか、僕がサンノゼ大学の学生で、キャンパスのチャペルで聖書を読んでいた時であった。僕の肩越しに「あなたは日本人ですか？」という声がある。エルダン・タケダという学生で、「日本人教会があるんですが、このサンデーに来てみませんか」と言う。僕はこのアメリカに日本人教会があるなどとはこれっぽっちも思つてはいなかった。「ぜひ行きたい」と言つたところ、サンタクララ教会に連れて行つてくれた。しかし、どこでも日本人教会なら良いというものでもないと思ひ、「僕は有賀喜一先生の伝道集会で救われたんです。が・・・」と言うと、「ああ、有賀先生でしたら、この教会で何度でもご用をしてくれましたよ」と言うのではないか。そこで僕は、ここなら通つても安心だと思ひ、それから足繁く通うことになつたという次第である。

そこで教会員だつたトム岡田に会つたのだつた。彼もサンノゼ大学の学生で、数学を専攻していた。彼は肩ひじを張らない、気さくな人柄であり、当初はレスラーのようにがっちりした上半身に気後れはしたが、すぐに打ち解けて親しくなつた。教会の老若男女から良く好かれる人の善い性格の持ち主であつた。それは感謝祭かクリスマスころだつた。その時は誰からも招待されずにひとり寂しくしている時だつた。トムには母親がいなくてもあつて、彼も寂しくしている時であつた。そこで一緒に信者さんたちの家に押しかけることにした。車のない僕はそんな時、いつも彼にライドをもらつて出かけたものだつた。前もつて連絡もせず、突然、嵐のようにディナーの真っ最中に押しかけるのだから、相手はたまつたものでない。私たちは招かれざる客であつたが、憎まれはしなかつたようだ。それは今も楽しい思い出の一つとなつている(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まつたジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

